

The EU and the UK: Brexit and beyond?

2019.3.29 (Fri.)

15:00 – 17:00

2016年6月の国民投票の結果、イギリスはEUを離脱(ブレグジット)しようとしている。イギリス議会における政治の展開も踏まえながら、本セミナーでは、イギリスとEUの関係の過去・現在・未来を議論する。

基調講演者のウィトマン教授は、イギリス国際政治学会(BISA)前会長、Journal of Common Market Studies編集長なども務め、イギリスおよびEUの外交政策の専門家として広く知られている。

セミナー当日には、イギリスがEUを離脱する予定だった。昨年11月にはメイ英首相がユンケル欧州委員会委員長と離脱協定に政治合意したが、その合意はイギリス議会においてまだ承認されていない。議会において、メイ首相の合意を承認すべきだとする勢力、合意なき離脱も余儀なしとする勢力、さらには総選挙や再度の国民投票も見据えて離脱期限を延期すべきだとする勢力などが拮抗する関係にあるからだ。ブレグジットがどのような結末を迎えることになるにせよ、本セミナーでは、イギリスとEUの関係について多角的な議論を試みる。



● Lecturer

Richard Whitman (Professor, University of Kent)

● Moderator

Hidetoshi Nakamura (Associate Professor, Waseda University)

【 Venue 】 Conference room #1, Bldg. #9, Waseda Campus

【 Audience 】 Students, faculty members and the general public

【 Language 】 English (No simultaneous interpretation)

【 Admission 】 Free, no registration required

【 Contact 】 ORIS Office: oris-ijimu@list.waseda.jp